

2. 広告の法的規制の展開

帝京大学法学部 教授 JARO審査委員会委員 鈴木 深雪

概要

日本における広告に対する法的規制は民事的規制からはじまり、占領政策のなかで誇大広告など、禁止される広告が定められ、刑罰で規制されるようになった。一方、ラジオ・テレビの広告がはじまり、広告への関心が高まった1950年代には、広告業界・広告関連業界は広告についての自主規制を行うようになった。

広告に対する本格的な法的規制がはじまったのは1960年代であり、虚偽・誇大広告などが主として行政によって規制されるようになった。

1970年代後半以降、契約トラブルの多発に伴い、契約関係の適正化を図る法律が制定されるようになり、これらの法律には広告する際に表示すべき事項およびその順守事項が定められている。これらには罰則も設けられているが、主として行政によって規制される。なお、広告することを義務付ける規制はない。



すずき みゆき
鈴木 深雪

学歴・職歴

公正取引委員会事務局、国民生活センター、日本女子大学を経て、帝京大学法学部教授。